

福島大学

キャリアモデル学習A

キャリアモデルの事例研究4
ある技術者の半生

－ 求められる人材像 －

2006年6月

長岡技術科学大学 教授

浅井 達雄

asai@kjs.nagaokaut.ac.jp

<http://www.hi-ho.ne.jp/tasai>

<http://kjs.nagaokaut.ac.jp/asai/lab/>

Copyright© 2006 浅井達雄

ある技術者の半生から

2006年6月

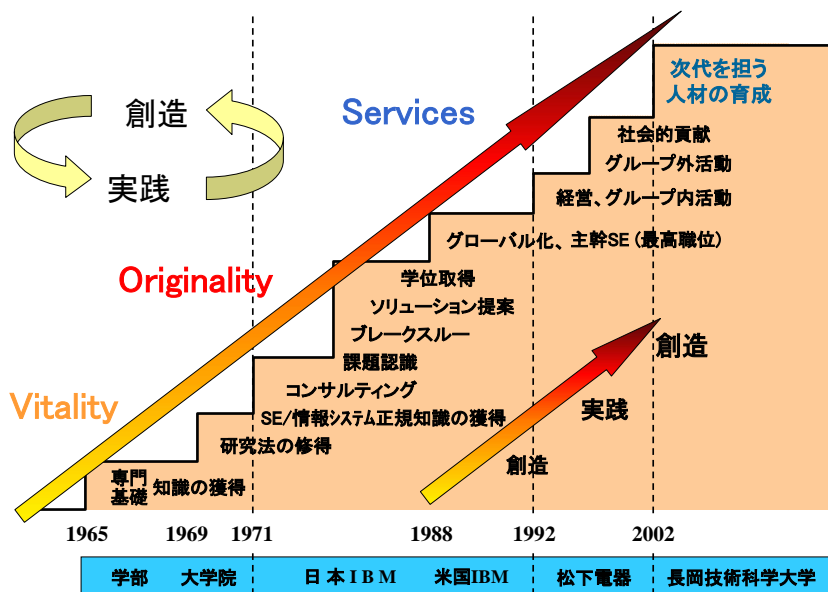
浅井 達雄

略 歴

- 岐阜県 出身
- 京都大学 卒業
- 京都大学大学院 修了
- 日本 I B M入社
- 工学博士
- 米国 I B M 情報通信本社勤務
- I B Mアジア・パシフィック勤務
- 松下電器入社、本社 情報企画部
- JUAS 情報システム・コンサルタント
- 大阪地方裁判所 民事調停委員
- 松下電器 IT・情報セキュリティ担当顧問
- 長岡技術科学大学 教授
- 個別労働紛争調整委員会委員
- 新潟地方裁判所 専門委員

Copyright© 2006 浅井達雄

実践と創造に挑み続けたある技術者の半生



Copyright© 2006 浅井達雄

今から思う決断の時とその判断基準(分岐点)

15歳の春 なぜ地元の高校に進学しなかったのか
17歳の春 なぜ理科系に進むことにしたのか
18歳の春 なぜ京大に進んだのか
23歳の春 なぜ公務員にならなかったのか
24歳の春 なぜIBMにしたのか
45歳の春 なぜ松下電器に移ったのか
55歳の時 なぜ大学で教壇に立つことにしたのか
そして、今、想うこと、
思い出深い言葉など

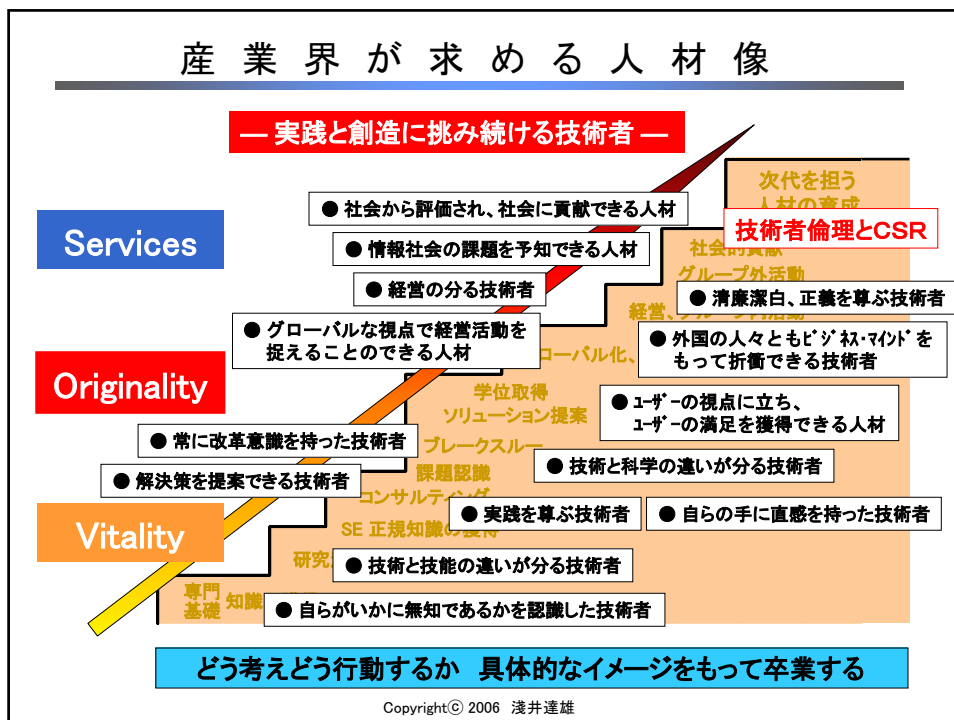
Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

2006年6月

浅井達雄

Copyright© 2006 浅井達雄



求められる人材像

その1

- 自らがいかに無知であるかを認識した技術者
 - 何でも知っていると感じている者は、学ぶことをしない。

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その2

- 技術と技能の違いが分る技術者
 - より高いミッションを認識する
 - ユーザーを常に認識する

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その3

- 実践を尊ぶ技術者
 - 分っただけでは身につかない
 - やってみて思想が生まれる

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その4

- 自らの手に直感を持った技術者
 - 異常にすぐ気がつく
 - 直ちにアクションがとれる

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その5

- 技術と科学の違いが分る技術者
 - 技術は、科学と生活とを結びつける橋である

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その6

- 課題を見つけ、解決策を提案できる技術者
 - 課題は、それを解決するよりも、明示する方がむづかしい
 - 複数の案を創出する
 - それらを比較、評価できる
 - 最善策が選定できる

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その7

- 常に改革意識を持った技術者
 - 既存の仕組みには必ず改善点がある
 - なぜそうなっているのかを常に考える
 - 良い質問をする
 - ディスカッションを楽しむ

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その8

- ユーザーの視点に立ち、ユーザーの満足、感動、感銘を獲得できる人材
 - 話を聴く
 - 相手の望むことをする
 - 自分ができるところを押し付けない

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その9

- 外国の人々ともビジネス・マインドをもって折衝できる技術者
 - すべての面で国際化が進展している
 - 常に国際的視点から事象をとらえる
 - 語学は目的ではない。ツールである
 - ポジションを明確にする
 - ディスカッションを好む

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その10

- グローバルな視点で経営活動を捉えることのできる人材
 - 国際競争は国内でも生じている
 - 常に国際的視点から経営活動をとらえる
 - グローバルな視点から判断する

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その11

- 経営の分る技術者
 - 経営の分らない技術者は、作業員の地位にとどまる
 - 経営は社会科学である
 - 技術者は社会科学も学ばなければならない

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その12

- 情報社会の課題を予知できる人材
 - ITはすべての分野で進展する
 - すべての技術者がITのインパクトを理解しなければならない
 - すべての技術者は来るべき課題を察知する努力を続けなければならない

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その13

- 清廉潔白、正義を尊ぶ技術者
 - その道を極めた技術者はかなりのことができるようになる
 - その能力を、「技術」の精神にのっとり、正しく生かしていかなければならない

Copyright© 2006 浅井達雄

求められる人材像

その14

- 社会から評価され、社会に貢献できる人材
 - 常に社会の動向をとらえ、社会全体が喜ぶことをする
 - 社会的課題の解決に貢献する

Copyright© 2006 浅井達雄

これからの社会の姿

	これまで	これから
価値創出	集団から	一人ひとりから
判断／行動	横並び	個々に自律
「ネットワーク」	人の	役割の
「資本」	財	知
リーダーシップ	組織による	ビジョンによる
組織	固定的	柔軟・動的
志気	上から	自ら
問題／課題	解決	発見

Copyright© 2006 浅井達雄

これからの組織の基本

1. ユーザー第一
2. 知識・知恵を個人から組織に
3. 管理よりもビジョンによるリード
4. みずから役割を考え、自立して動く
5. ニーズの多様化への即応
6. PDCA

Copyright© 2006 浅井達雄

一服閑話

Vision

- ▲Visi- 見ることに関係する言葉を作る
- ▲Vision
 - Visible - Invisible
 - Visibility
 - Television
 - Vista
- ▲Visit
 - Visitor
- ▲View
- ▲Evident

Copyright© 2006 浅井達雄

チームワーク

いままで	これから
野球チーム型	サッカー・チーム型
オーケストラ型	ジャズ・バンド型
鉄道事業型	コンサルティング事業型

Copyright© 2006 浅井達雄

これからのリーダーシップ

1. 人が人を管理する時代は終わった
2. マネージャーではなく、リーダーが必要
3. 管理よりもビジョンによるリード
4. 仕事の、より高いミッションを明示
5. みずから役割を考え、自立して動く環境づくり
6. メンバーの力を最大限に引き出す環境づくり

Copyright© 2006 浅井達雄

キーワードでみたこれまでの活動と今後

